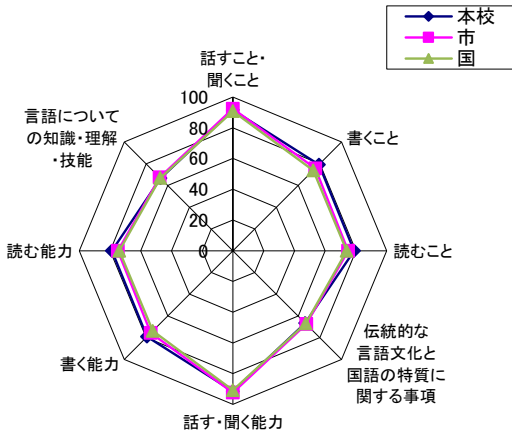


宇都宮市立富士見小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

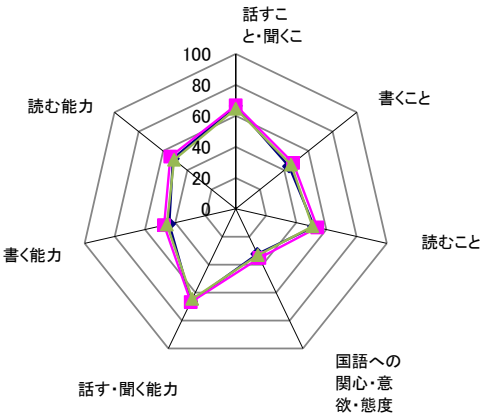
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	91.5	92.4	90.8
	書くこと	79.2	75.7	73.8
	読むこと	78.8	74.9	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	66.6	67.5	67.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	91.5	92.4	90.8
	書く能力	79.2	75.7	73.8
	読む能力	78.8	74.9	74.0
	言語についての知識・理解・技能	66.6	67.5	67.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	66.4	66.8	64.6
	書くこと	44.0	47.4	45.6
	読むこと	51.9	54.0	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	32.4	35.2	33.2
	話す・聞く能力	66.4	66.8	64.6
	書く能力	44.0	47.4	45.6
	読む能力	51.9	54.0	50.8
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○国語Aの平均正答率は91.5%であり、国の正答率を0.7ポイント上回った。 ○質問の意図を捉える問題はよくできている。 ●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べてまとめる問題では、0.2ポイント上回っているが、正答率としては低い。	・スピーチや発表では、自分の考えを明確に持たせるだけでなく、様々な条件に合った適切な伝え方ができるよう指導していく。 ・自分の立場を明確にした発言の仕方や、それらの意見をまとめる司会の仕方などが経験できるような学習を多く設定する。
書くこと	○国語Aの平均正答率は79.2%であり、国の正答率を5.4%上回った。 ○文章全体の構成の効果を考える問題はよくできている。 ●国語Bの平均正答率は44.4%であり、国の正答率を1.6ポイント下回った。 ●目的や意図に応じて文章の構成を考える問題では、国の正答率を5.7ポイント下回った。	・推薦をする文章を書く活動では、目的や意図に応じて構成の効果を考えて文章を書くように指導していく。 ・他教科の学習においても、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書く学習を多く取り入れるようにする。
読むこと	○国語Aの平均正答率は、78.8%であり、国の正答率を4.8%上回った。 ○目的に応じて必要な情報を捉える問題はよくできている。 ○国語Bの平均正答率は51.9%であり、国の正答率を1.1ポイント上回った。 ●目的に応じて複数の本や文章などを選んで読む問題では、国の正答率を1.5ポイント上回っていたが、正答率が50.9%と他の問題に比べて低い。	・物語文の学習においては、場面の様子を表す色や音、情景などの細かい描写を丁寧に取り上げ、全体を見通しながら登場人物の言動や心情の変化を読み取ることができるよう指導をしていく。 ・他教科の学習においても、複数の情報から自分に必要な情報を正しく選ぶ学習の充実を図る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「セイ造」「カン理」など文の中で漢字を正しく使う問題では、国の正答率を6ポイント上回った。 ●文の中における主語と述語の関係などに注意して文を正しく書く問題では、国の正答率を7.2ポイント下回った。	・文を書く際に主語・述語が正しくつながるように指導する。 ・漢字をただ練習するのではなく、多様な使い方を調べる習慣を身に付けさせる。